

News Release

～ 相談回数を重ねることでより効果を発揮 ～

FPとの相談経験は、資産形成をはじめ 生活や行動にも良い変化をもたらすことが明らかに

日本FP協会(所在地:東京都港区、理事長 白根壽晴)は、20～60代を対象にファイナンシャル・プランナー(以下、FP)との相談に関する追跡調査を実施しました。

アンケート調査では、FPとの相談(以下、FP相談)経験者とFP相談未経験者の実態や違いなどがまとめられており、FP相談の有用性が明らかとなっています。また、FP相談に至ったきっかけや動機、日常の行動や意識の変化を聞くインタビュー調査では、相談回数については複数回が有効であり、ライフステージごとにFP相談を行うことで、日々の不安が払拭され安心感が生まれていることがわかりました。

調査結果の概要

Topic1 FP 相談経験者の約 6 割が「現在の生活に満足」と回答

- ◆FP 相談経験者の生活満足度は未経験者の満足度を 26.8pt 上回る。
- ◆FP 相談経験者において、「FP に相談してから生活満足度が上がったと思う」と回答した割合は、全体で約 2 割。相談回数が「2 回以上」の場合は、3 割を超える。

Topic2 FP 相談の回数を重ねることが大事

- ◆FP 相談経験は、生活の安心感や充実感、生活していくうえでの自信が高まる。相談回数で比較すると、「1 回」よりも「2 回以上」のほうが「相談してから上がった」と回答する割合が高い。
- ◆FP との相談については、経験者の 6 割以上が満足しており、相談回数を重ねるほど満足度は高まる傾向にある。
- ◆FP 相談後、資産額・貯蓄額が「増えた」と回答した割合は全体で 2 割。相談回数を重ねることで資産額・貯蓄額の「増えた」という割合が高くなる。

Topic3 FP との相談経験は、生活・行動に良い変化をもたらす

- ◆FP 相談後の生活における具体的な変化では、「将来のビジョンを考えて、それに基づいてお金を考えるようになった」「節約だけではなく、お金は使うためにあると考えるようになった」「資産の整理ができた」「ストレス軽減と心の豊かさにつながった」「気が楽になった」など、前向きな意見が多く見られた。
- ◆お金の使い方でのどのような変化が見られたのか聴取したところ、「資産運用に対して前向きに取り組めるようになった」「お金の使い方がわかり、生活費以外に趣味などにお金を使うことで毎日を楽しめるようになった」など、経済面の豊かさだけでなく、心の豊かさにもつながることを示唆している。

※調査結果の詳細は、別紙をご覧ください。

◆リリースに関するお問い合わせ先

担当	日本FP協会 広報部広報課 稲葉	TEL 03-5403-9423	FAX 03-5403-9795	E-mail info@jafp.or.jp
----	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------------

※「家計のホームドクター[®]」はNPO 法人日本FP協会の登録商標です。

NPO 法人 日本FP協会

<本部事務所> 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス 5F
<大阪事務所> 〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜 1-4-19 マニユライフプレイス堂島 5F

100 人生100年の
家計戦略

【別紙】

本調査実施の背景

近年、政府による資産運用立国の実現に向けた具体的な取り組みが開始されています。家計の安定的な資産形成を支援するための一例として、新しいNISA制度の開始や顧客の立場に立ったアドバイザーの普及・促進が進められています。日本FP協会では、2004年から「くらしとお金のFP相談室」を開設し、生活者にFP相談を実際に体験していただく場を設けており、幅広い年代の方にご活用いただいております。一方、FP相談経験については、「FPに相談したことも、FP相談を検討したこともない」層が多数派であることが明らかとなっています（2023年日本FP協会実施『就職氷河期世代に関する意識調査結果』より）。そこで、FP相談経験者の声を聴取し、FP相談の有用性を広く社会に伝えることが重要であると考え、本調査を実施しました。

FPは夢の実現をお手伝いする家計のホームドクター®です

【FP(ファイナンシャル・プランナー)とは？】

FPは夢の実現をお手伝いする家計のホームドクター®です。

家計に関わる金融、税制、不動産、住宅ローン、保険、教育資金、年金制度など幅広い知識を備え、一人ひとりの将来の夢がかなうように一緒に考え、サポートする専門家です。

【FP相談とは？】

一般的にはまず、相談者の悩みや希望を聴き、夢や目標を一緒に整理します。そして、その実現に向けて家計を見直し、ライフスタイルに対する価値観などを話し合いながら、無理のないファイナンシャル・プランの作成を行います。まずは、お気軽に無料体験相談をしてみたいかがでしょうか。

【無料体験相談】

日本FP協会では、東京(本部)や大阪など全国8カ所で無料相談を体験できる「くらしとお金のFP相談室」を常設しています。対面での無料体験相談をご希望の方は、予約制(インターネット)ですので、事前にお申し込みください。

【FPに相談する流れとは？】

1.FPを探す

無料相談で体験したら、日本FP協会のホームページから、[信頼できるFP](#)を探し、有料相談を行ってみましょう。

2.相談の申し込み

電話やメール等で、申し込みましょう。[相談料](#)、プラン作成料など疑問点があれば事前にしっかり聞いておきましょう。

3.効果的に相談する準備

質問票の記入、家計簿や資産管理簿の持参など、[相談に必要なもの](#)をFPに聞いてみましょう。

詳細は、日本FP協会ホームページにてご覧いただけます。

<https://www.jafp.or.jp>

調査結果の詳細

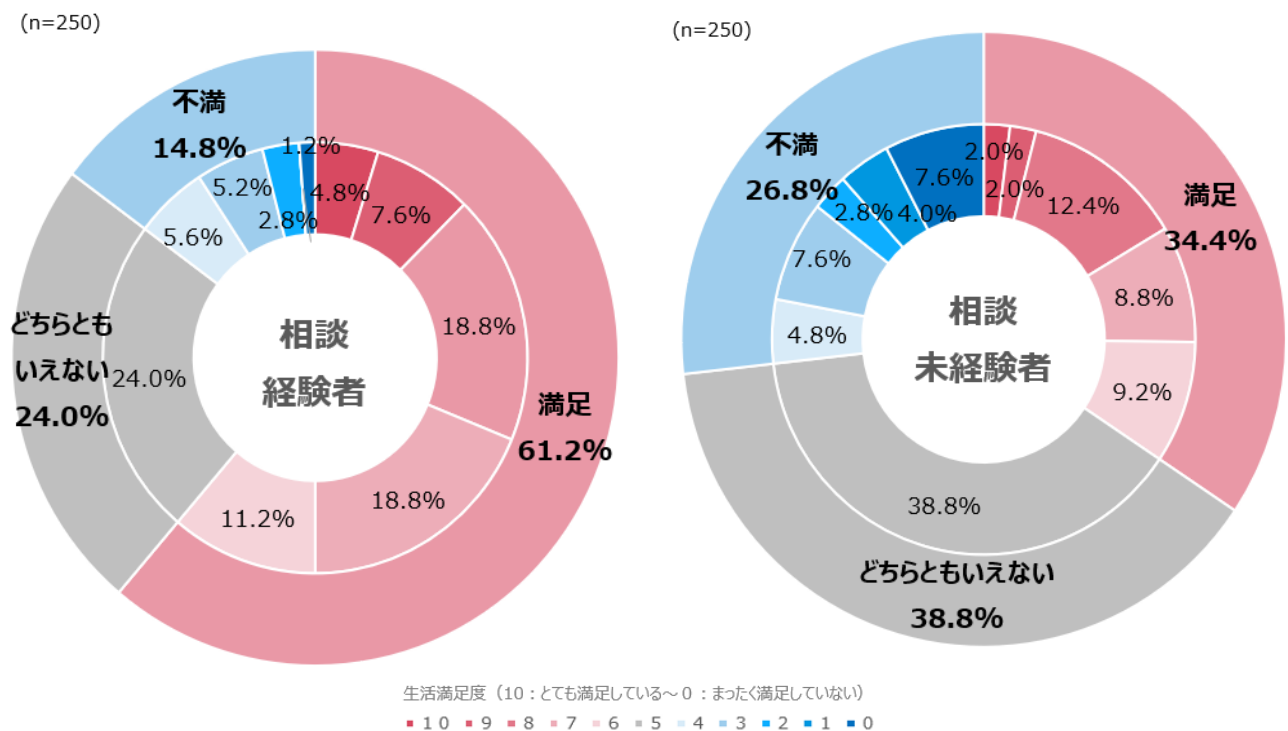
Topic1 FP 相談経験者の約 6 割が「現在の生活に満足」と回答

- FP 相談経験者が日常生活に満足を感じている割合は全体の 6 割以上なのに対し、FP 相談未経験者の生活満足度は 3 割程度にとどまる。特に、FP 相談経験者において、生活満足度が「10 点(とても満足している)」、「9 点」と回答した割合は合わせて 12.4%。(図 1 参照)
- 相談経験者において、「FP に相談してから生活満足度が上がったと思う」と回答した割合は、全体で 23.2%。相談回数が「2 回以上」の場合は、32.3%を超える。(図 2 参照)実際に、相談満足度の高い回答者からは、「一歩前進した感じがする」「将来の不安がなくなった」といった、前向きな自由回答も見られた。(図 3 参照)
- FP 相談経験がその後の生活満足度向上の 1 つのきっかけとなる可能性が考えられる。

Q.あなたは、現在の生活にどの程度満足していますか。10(とても満足している)～0(まったく満足していない)の間であてはまる数字をお選びください。(1つのみ)

図 1

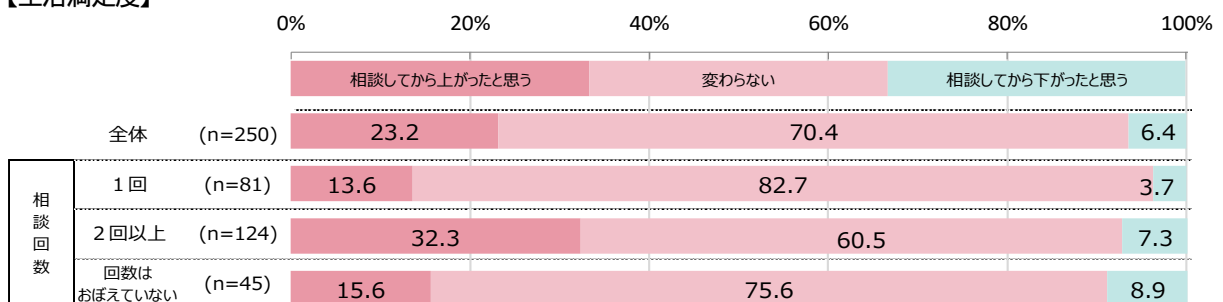
【生活満足度】



Q.FPに相談したことで、普段の生活に関する意識はどのように変化しましたか。当てはまるものをお選びください。(1つのみ)

図 2

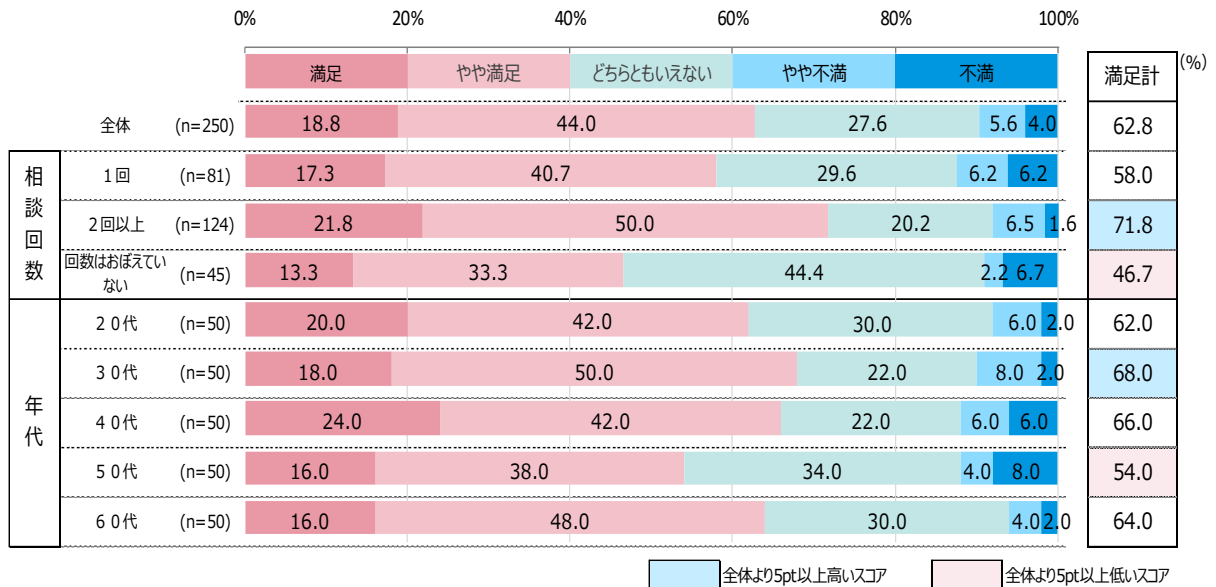
【生活満足度】



Q.FPIに相談した際の総合的な満足度をお答えください。(1つのみ)

図 3

【相談満足度】



FP 相談満足層の自由回答

	対応	<ul style="list-style-type: none"> 細かいところまで相談に乗ってくれた (女性・30代) 根気よく説明してくれて、安心感があった (女性・40代) 気軽に質問でき、初歩的なことから教えてもらった (男性・30代)
	説明	<ul style="list-style-type: none"> 非常にわかりやすく、親身に現状分析し、評価をいただいた (男性・50代) 真摯に対応してくれて、疑問にすべて答えてくれた (女性・20代) 親身に丁寧に説明してくれて、素人でもわかりやすかった (女性・40代)
	専門性	<ul style="list-style-type: none"> 素人では解決できない問題を聞いた (男性・20代) 自分の家庭の資産状況を客観的に評価してもらえた (男性・50代) やはり知識が豊富だと感じた (男性・30代)
	自身の変化	<ul style="list-style-type: none"> 一歩前進した感じがする (男性・20代) 資産運用を考えるきっかけとなった (女性・40代) 自分にとって必要な保障と資産のバランスを整理できた (男性・40代)
	不安の解消	<ul style="list-style-type: none"> そのときの不安が解消できた (男性・50代) 将来の不安がなくなった (女性・40代) 自分ではどうしようもなかったが、相談して先の見通しが付いた (男性・40代)

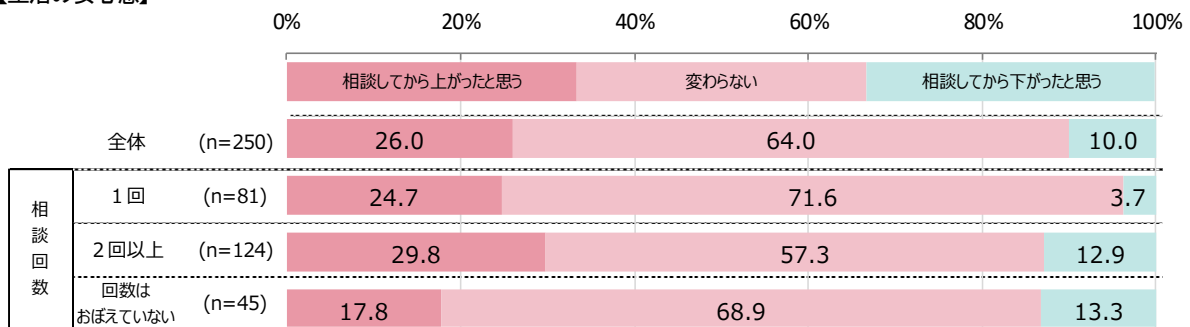
Topic2 FP 相談の回数を重ねることが大事

- FP 相談経験は、生活満足度だけでなく、生活の安心感や充実感、生活していくうえでの自信など、生活における様々な変化が見られる。また、これらのことを相談回数で比較すると、「1回」よりも「2回以上」のほうが「相談してから上がったと思う」と回答する割合が高く、「生活していくうえでの自信」では 12.5pt、生活の充実感では 11.1pt の差が見られた。(図4参照)
- 相談後の行動の変化としては、「保険の見直し」が最も多く、次いで「家計管理の見直し」、そして「投資・資産運用」および「貯蓄・資産形成」と続く。相談回数を重ねるごとに、より積極的な行動の変化が見られる。(図5参照)
- よりよい生活を送るためには、FP 相談を1回のみにするのではなく、その後何度も回数を重ねていくことが重要なポイントといえる。
- FP 相談後、資産額・貯蓄額が「増えた」と回答した割合は全体で2割。また、1回だけの相談よりも、相談回数を重ねることで資産額・貯蓄額の「増えた」という割合も高くなる。(図6参照)
- 「増えた」と回答した方に資産額・貯蓄額の増加幅を聴取したところ、最も多いのは「3~5%未満」で28.0%。次いで「10%以上」が22.0%。(図7参照)
- FP 相談経験は、生活や行動の良い変化だけではなく、実際の資産額・貯蓄額増加といった目に見える利益につながる可能性がある。

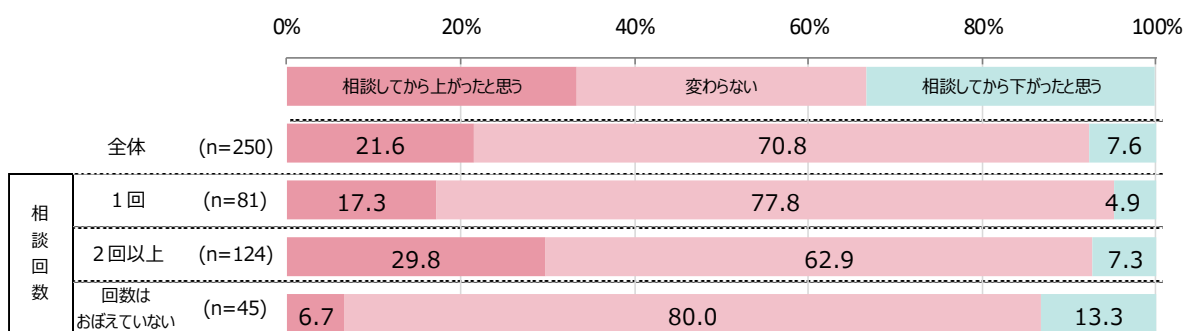
Q.FPIに相談したことで、普段の生活に関する意識はどのように変化しましたか。当てはまるものをお選びください。(1つのみ)

図4

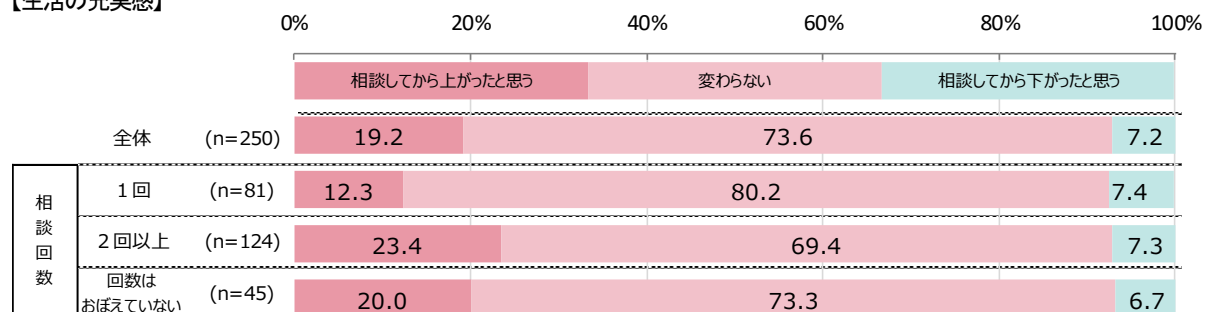
【生活の安心感】



【生活していくうえでの自信】



【生活の充実感】



Q.FPに相談したことで、普段の行動はどのように変化しましたか。当てはまるものをお選びください。(1つのみ)

図 5

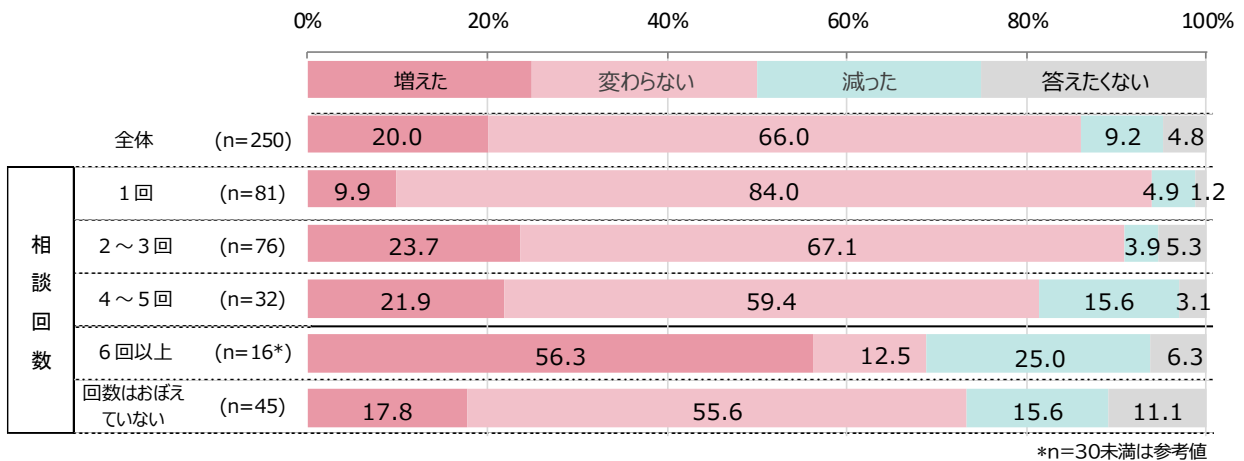
「FP相談後、新しく始めた」と回答した割合



Q.FPに相談したことで、資産額や貯蓄額はどのように変化しましたか。(1つのみ)

図 6

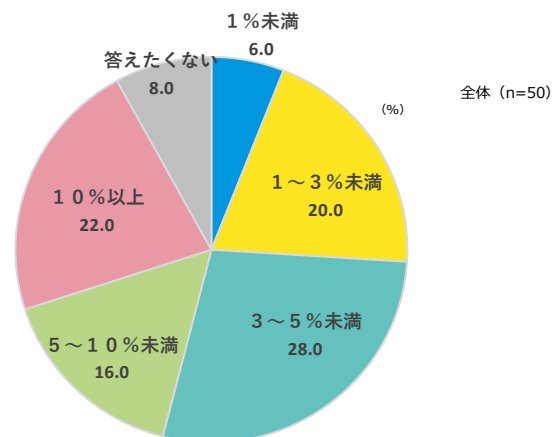
【資産額・貯蓄額の変化】



【「増えた」と回答した場合のみの資産額・貯蓄額の増加幅】

Q.「増えた」と回答した方にお聞きます。おおよそ構いませんので、増加幅で当てはまるものをお選びください。(1つのみ)

図 7



Topic3 FP 相談経験は、生活・行動に良い変化をもたらす

- 相談後の行動変化は、「資産運用に対して前向きに取り組めるようになった」「お金の使い方がわかり、旅行なども楽しめるようになった」など、単に節約するだけでなく投資をしつつ楽しむのためにお金を使うなど変化が見られる。中には自分が勉強しなくてはと思い、FP 資格を取得するなど積極的に学ぼうと行動する方も見られた。
- 相談後の意識変化は、「将来のビジョンを考えて、それに基づいてお金の使い方を考えるようになった」「節約だけではなく、お金は使うためにあると考えるようになった」「資産の整理ができた」「ストレス軽減と心の豊かさにつながった」「気が楽になった」など、相談することで意識の変化に伴い安心感も生まれていることがわかる。

FP 相談の評価・推奨意向



※2級FP技能士、AFP資格保有

FP相談の評価・推奨意向

- ✓ **担当FPの属性**：40代
- ✓ **FP満足度（10点満点）**：10点
- ✓ **推奨意向**：実際に人に勧めたことがある。「お客さまに寄り添ってくれること」をポイントに勧める。

FP相談の評価・推奨意向

- ✓ **担当FPの属性**：40代
- ✓ **FP満足度（10点満点）**：10点
- ✓ **推奨意向**：友人に相談されたら、勧めるかもしれない。商品の押しつけがなく、自分に合ったものを勧めてくれ、**相談しながら納得して決められる**ため。



FP相談の評価・推奨意向

- ✓ **担当FPの属性**：（1人目）30代、（2人目）40代
- ✓ **FP満足度（10点満点）**：（1人目）3点、（2人目）9点
- ✓ **推奨意向**：友人から相談を受けたら、2人目のように**よいFPに出会えた経験は伝える**。こちらのリクエストや希望にきちんと答えてくれるFPがいる、と教えると思う。いろいろなFPがいるので、今回2人のFPに相談したように、複数のFPに相談したほうがよいということも併せて伝える。



FP相談の評価・推奨意向

- ✓ **担当FPの属性**：（1人目）30代、（2人目）50代
- ✓ **FP満足度（10点満点）**：（1人目）5点、（2人目）10点
- ✓ **推奨意向**：知識がない友達に環境の変化があつたら勧めたい。自分の経験談も交えつつ、「資産やこれからの生活について、細かくアドバイスしてくれるから、**不安が少しでもなくなるかもしれない**」と言って勧める。



FP相談の評価・推奨意向

- ✓ **担当FPの属性**：（1人目）30代、（2人目）40代
- ✓ **FP満足度（10点満点）**：（1人目）7点、（2人目）8点
- ✓ **推奨意向**：しつこく販売する感じでもなく、**こちらの意図も理解してくれていた**。波長が合い、**純粋に相談できる印象を持った**ため、友人によりFPがないか聞かれたら勧めてもよい。





■調査概要

調査タイトル:FP 相談経験者の追跡調査

〈 定量調査 〉

調査方法 : インターネット調査

調査対象 : 全国の 20~60 代の男女

調査期間 : 2024 年 8 月 22 日~23 日

回収数 : 500 S

回収割付 : FP 相談の経験がある方:250 S

FP 相談の経験がない方:250 S

年代は均等回収

留意事項 : 図表中の「n」は算出の母数(回答者総数)である

〈 定性調査 〉

調査方法 : オンライン・デプスインタビュー調査

調査対象 : FP 相談の経験がある方

定量調査の回答者のうち、インタビュー参加意向の方

調査期間 : 2024 年 9 月 26 日~28 日

回収数 : 5 S

インタビュー時間 : 60 分/人